

- 第1表 予定処理区域調書  
→ 変更なし（予定処理区域の面積は変わらない）
- 第2表 吐口調書  
→ 変更あり（計画放流量を計画下水量（雨天時計画汚水量）に変更）
- 第3表 管渠調書  
→ 変更あり（能力確認の結果、増補が必要な管渠について記載）
- 第4表 処理施設調書  
→ 変更あり（処理能力の欄に雨天日最大を記載、終末処理場等の敷地内の主要な施設に、増強する施設を記載）
- 第5表 ポンプ施設調書  
→ 変更あり（1分間の揚水量欄に雨天時最大を記載、ポンプ施設の敷地内の主要な施設に、増強する施設を記載）
- 第6表 貯留施設調書  
→ 変更あり（処理場外に設置する貯留施設を記載）

## 第2表 吐口調書

計画下水量(雨天時計画汚水量)を記載する。

(第2表)

(赤) 変更前

(黒) 変更後

吐 口 調 書						
処理区又は排水区の名称	主要な吐口の種類	主要な吐口の番号又は名称	主要な吐口の位置	計画放流量(m <sup>3</sup> /sec)	放流先の名称	摘 要
〇〇処理区	処理施設	〇〇下水処理場1号吐口	〇〇下水処理場	1.389 1.620	〇〇川	計画高水位 TP+0.97
	分流式雨水管渠	△△川1号吐口	△△町二丁目	14.183	△△川	計画高水位 TP+6.52

## 第3表 管渠調書

主要な管渠について、計画下水量(雨天時計画汚水量)を排水するために必要な施設を記載する。

(第3-1表)

(赤) 変更前  
(黒) 変更後

管 渠 調 書 ( 分 流 式 汚 水 )				
処理区の名 称	主要な管渠の内のり寸法 (単位 ミリメートル)	延 長 (単位 メートル)	点検箇所の数	摘 要
〇 〇 処 理 区	○ 300 ~ ○ 900	5,620	1 箇所	方法：マンホール内部からの管内目視による方法 頻度：5年に1回以上
	○ 300 ~ ○ 1000	5,700		
	小 計	5,620 5,700	1 箇所	
計		5,620	—	
		5,700	1 箇所	

# 第4表 処理施設調書 (処理場内に貯留施設を設置して対応する場合)

○処理施設調書は、記載事項に変更なし

(第4表)

(赤) 変更前  
(黒) 変更後

処 理 施 設 調 書								
終末処理場等の名称	位 置	敷地面積 (単位ヘクタール)	計画放流水質	処理方法	処 理 能 力			摘 要
					晴天日 最大 (単位立方メートル)	雨天日 最大 (単位立方メートル)	計画処理 人口 (人)	
○ ○ 下水処理場	○ ○ 市 ○○一丁目	7.2	BOD 10 mg/L  T-N 15 mg/L  T-P 1.5 mg/L	標準活性汚泥法	81,000		111,700	計画下水量(日最大) 81,000 m <sup>3</sup> /日  流入水質 BOD 177 mg/L T-N 34 mg/L T-P 3.7 mg/L  処理水質 BOD 10 mg/L T-N 10 mg/L T-P 0.5 mg/L

## 第4表 処理施設調書 (処理場内に貯留施設を設置して対応する場合)

○「終末処理場等の敷地内の主要な施設」の様式へ、貯留施設を污水調整池として記載  
また、ポンプ施設については雨天時計画汚水量に対応するために必要な施設を記載

(赤) 変更前  
(黒) 変更後

終末処理場等の敷地内の主要な施設					
終末処理場等の名称	主要な施設の名称	個数	構造	能力	摘要
○ 下水処理場	流入渠	1式	鉄筋コンクリート管	流量 約40m <sup>3</sup> /sec	
	污水沈砂池 (分流系)	2池	鉄筋コンクリート作り	水面積負荷率 約1,800m <sup>2</sup> /m <sup>2</sup> ・日	既設
	主ポンプ	3台	污水ポンプ	約14m <sup>3</sup> /min/台	3/3 4/4 1台予備
	污水調整池	1池	鉄筋コンクリート造	○ $\circ$ m <sup>3</sup>	
	最初沈殿池 (A系)	4池	鉄筋コンクリート造り	水面積負荷率 約70m <sup>2</sup> /m <sup>2</sup> ・日	既設
	(B系)	3池	鉄筋コンクリート造り	水面積負荷率 約70m <sup>2</sup> /m <sup>2</sup> ・日	既設

雨天時計画汚水量に対応するため2台追加  
主ポンプを3台から4台に増強  
という状況を想定

污水調整池を設置し対応

→処理場外に貯留施設を  
設置する場合は、第6表で対応

# 第4表 処理施設調書 (処理場の処理能力を増強して対応する場合)

○処理能力の雨天日最大の欄に、雨天時計画汚水量を記載

(第4表)

(赤) 変更前  
(黒) 変更後

処 理 施 設 調 書								
終末処理場等の名称	位 置	敷地面積 (単位ヘクタール)	計画放流水質	処理方法	処 理 能 力			摘 要
					晴天日 最大 (単位立方メートル)	雨天日 最大 (単位立方メートル)	計画処理 人口 (人)	
○ ○ 下水処理場	○ ○ 市 ○○一丁目	7.2	BOD 10 mg/L T-N 15 mg/L T-P 1.5 mg/L	標準活性汚泥法	81,000	- ○○○	111,700	計画下水量(日最大) 81,000 m <sup>3</sup> /日 ○○○ m <sup>3</sup> /日  流入水質 BOD 177 mg/L T-N 34 mg/L T-P 3.7 mg/L  処理水質 BOD 10 mg/L T-N 10 mg/L T-P 0.5 mg/L

## 第4表 処理施設調書 (処理場の処理能力を増強して対応する場合)

○「終末処理場等の敷地内の主要な施設」に、増強する施設を記載

(赤) 変更前  
(黒) 変更後

終末処理場等の敷地内の主要な施設					
終末処理場等の名称	主要な施設の名称	個数	構造	能力	摘要
○ 下水処理場	流入渠	1式	鉄筋コンクリート管	流量 約40m <sup>3</sup> /sec	
	汚水沈砂池 (分流系)	2池	鉄筋コンクリート作り	水面積負荷率 約1,800m <sup>2</sup> /m <sup>2</sup> ・日	既設
	主ポンプ	3台	汚水ポンプ	約14m <sup>3</sup> /min/台	3/3 4/4 1台予備
	最初沈殿池 (A系)	4池 5池	鉄筋コンクリート作り	水面積負荷率 約70m <sup>2</sup> /m <sup>2</sup> ・日	既設
	(B系)	3池	鉄筋コンクリート作り	水面積負荷率 約70m <sup>2</sup> /m <sup>2</sup> ・日	既設

雨天時計画汚水量に対応するため2台追加  
主ポンプを3台から4台に増強

という状況を想定

最初沈殿池を増設

→その他、必要な施設を記載  
第5表についても同様の取扱い

## 第6表 貯留施設調書

○処理場外に貯留施設を設置する場合は、第6表に記載

(第6表)

貯留施設調書 (汚水)				
処理分区の名称	主要な貯留施設の名称	主要な貯留施設の位置	貯留能力 (単位：m <sup>3</sup> )	摘要
— ○○処理分区	— ○○汚水調整池	— ○○市△丁目	— 31,800	雨天時汚水量の貯留施設 敷地面積 約3.0ha